

セメント系断面修復材 **リフレモルセットAD**

平成12年厚生省令第15号 第1条第17項の浸出基準に適合

最終改正：平成26年厚生労働省令第15号

(試験方法：JWWA Z 108：2012 水道用資機材—浸出試験方法)

リフレモルセットADとは

リフレモルセットADは、上水道施設におけるコンクリート駆体の断面修復、モルタルライニング用に開発した特殊セメント系モルタルです。

リフレモルセットADの特長

- 平成12年厚生省令第15号(最終改正：平成26年厚生労働省令第15号)に定められた浸出基準に適合しています。(試験方法：JWWA Z 108：2012 水道用資機材—浸出試験方法)
- 安定した強度発現を確保しています。
- コテ塗り、吹付けでの施工が可能です。
- 付着性が高く、コンクリート駆体との一体回復が可能です。
- 特殊短繊維入りのタイプA、特殊短繊維なしのタイプ、ポリマー入りのタイプPには短繊維有り無しの2種類、計4種類のタイプをご用意しています。

断面修復工の施工環境管理

- 施工時及び養生時の気温が5～40℃で、結露しない環境下にて施工を行ってください。
- 施工後、急激な乾燥・強風・降雨・直射日光を受けないようシート養生等願います。
- 5℃を下回ると考えられる場合はジェットヒーター等を用い作業場の雰囲気温度を上げてください。
- 氷点下の気温が予想される場合は施工を中止してください。
- 酷暑時には、練り上がり温度が概ね30℃以下になるよう、練り水に冷水を用いる等の対策を講じてください。

取り扱い上の注意

- 本製品は強いアルカリ性を呈し、目、鼻、皮膚等を刺激したり、粘膜に炎症を起こすことがあります。
- 作業時には、保護手袋、防塵マスク、防塵眼鏡等を必ず着用してください。
- 目に入った場合は、きれいな水で十分に洗眼し、直ちに専門医の診察を受けてください。
- 皮膚に付着した場合は、きれいな水で十分に洗い流してください。



荷姿：
25kg紙袋入り

※荷姿は製造の都合等により予告なく変更する場合がありますので予めご了承ください。

リフレモルセットADのタイプ

タイプ名	ポリマー	特殊短繊維
タイプA	なし	あり
タイプB	なし	なし
タイプP 繊維入り	あり	あり
タイプP 繊維なし	あり	なし

標準配合

	リフレモルセットAD タイプA, B, P	水	練り上がり量
1袋 配合	25 kg (1袋)	4.2 kg	約13.5 ℓ
1m ³ 配合	1850 kg (74袋)	311 kg	約1000 ℓ

※リフレモルセットADの配合はタイプA, B, P共通になります。
※練り混ぜ水量は外気温、湿度等の条件により変化しますので、3.9～4.5kgの範囲で調整をお願いします。

物性値の一例

項目	材齢	試験値	試験方法	
単位容積質量	—	2.15		
JISフロー (—)	—	179	JIS R 5201	
曲げ強さ (N/mm ²)	20℃	3日	4.8	JIS R 5201 セメントの物理試験方法 に準拠
		7日	7.5	
		28日	8.5	
圧縮強さ (N/mm ²)	20℃	3日	25.2	JIS R 5201 セメントの物理試験方法 に準拠
		7日	42.5	
		28日	62.0	
付着強度 (N/mm ²)	20℃	7日	1.9	建研式簡易引張試験装置
		28日	2.6	
凝結時間	20℃	—	始発 4 : 35 終結 6 : 40	JIS A 1147に準拠
長さ変化率 (%)	20℃	28日	0.048	JHS 416 ダイアルゲージ法
静弾性係数 (kN/mm ²)	20℃	28日	25.5	JIS A 1149

※上記のデータはタイプPによる代表値であり、品質保証値ではありません。

施工方法

下地処理

1. 下地コンクリートの浮き、脆弱部、レイタンス、油類などを除去します。
2. 下地コンクリートを十分に水洗いし、湿潤状態に保ちます。水洗いが不可能な場合は下地をエアブロー等で良く清掃してください。

材料の混練

配合表を目安にモルタルミキサーを用い3分間以上混練します。

※外気温、水温、練り上がり温度、湿度等により、可使用時間、施工性が変わるため、施工性の確認を行いながら、規定水量の範囲内で混練水量を調整します。

※練り上がった材料は30～45分以内に使い切ってください。

施工

1. コンクリート下地表面の水引を確認します。
2. 左官によるコテ塗りを行う場合は、3mm程度でしごき塗りをを行い、追っかけで所定の塗り厚まで仕上げてください。
3. モルタルポンプによる吹付けを行う場合は、薄く粗吹きを行った後、所定の塗り厚まで吹付けを行ってください。吹付け終了後、左官でコテ仕上げを行ってください。

●リフレモルセットADの標準施工厚

タイプA、タイプP繊維入り	3～20mm程度
タイプB、タイプP繊維なし	3～10mm程度

(標準施工厚は一度に塗る場合の施工厚です。重ね塗りを行う場合は施工方法の「打ち継ぎ」を参考に行ってください。)

打ち継ぎ

リフレモルセットADの打ち継ぎ間隔は下地の指触硬化(しまり)を目安とします。

参考：リフレモルセットADの打ち継ぎ間隔の目安

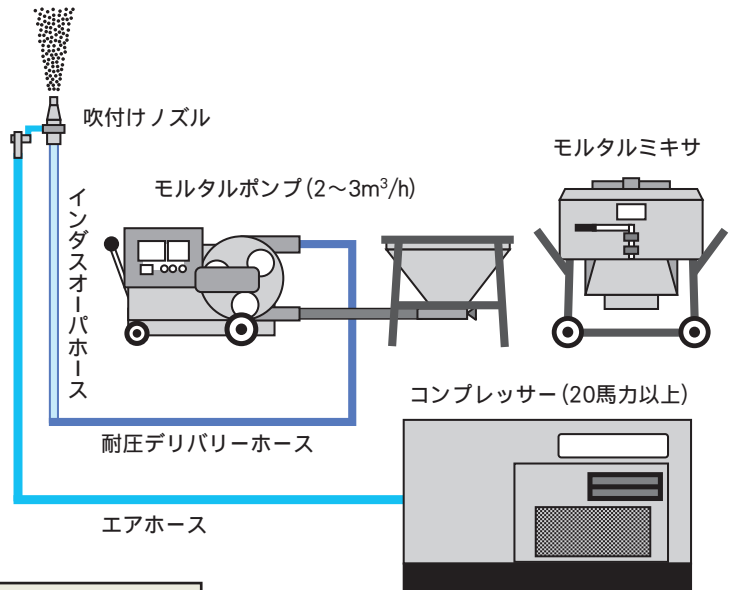
冬期	標準	夏期
外気温5～15℃	外気温16～25℃	外気温26℃以上
4～6時間以上	2～3時間以上	1～2時間以上

打ち継ぎが翌日以降になる場合は、打ち継ぎ面に水打ちを行う、もしくは当社指定のプライマーを塗布してください。

養生

施工後は、直射日光や風等が当たらないようにシート養生等を行ってください。また、寒冷時には、保温養生を行ってください。

吹付け装置の一例



浸出試験の証明書



物性値の詳細については、当社試験成績表等をご参照ください。
使用および取扱いの前に、当製品の安全データシート(SDS)をお読みください。
本カタログの記載内容については、予告無しに変更する場合がありますので、予め御了承願います。

住友大阪セメント株式会社 建材事業部

〒105-8641 東京都港区東新橋1-9-2 (汐留住友ビル20F)
Tel. 03-6370-2721 Fax 03-6370-2759

大 阪 Tel.06-6342-7704 名 古 屋 Tel.052-566-3202
札幌支店 Tel.011-241-3901 東北支店 Tel.022-225-5251
北陸支店 Tel.076-223-1505 四国支店 Tel.087-851-6330
広島支店 Tel.082-577-7645 福岡支店 Tel.092-481-0186

本製品に関するお問い合わせ・ご用命は